

新型コロナウイルス感染防止対策にともなう

第73回春季岐阜県高等学校軟式野球大会

(第70回岐阜県高等学校総合体育大会・軟式野球競技)

運営の基本的な考え方（ガイドライン）

一般財団法人岐阜県高等学校野球連盟・軟式部

はじめに

各加盟校におかれましては、日頃より新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、生徒への御指導をいただき誠に感謝申し上げます。コロナ禍の中で、昨年の秋季大会は第5波の感染拡大で大会開催の延期を余儀なくされ、さらに練習時間も十分でない状況での大会の開催・運営にあたり、各加盟校におかれては、多くの制約がある中にご理解とご協力をいただき、徹底した感染防止対策により、登録した全10チームが大会に出場できたことに誠に感謝申し上げます。

現在、感染拡大第6波の終息が見られない状況下での大会準備となりますが、我々はこれまで感染症対策について、様々な経験を積み重ねてきました。野球については、これまで試合中の選手間やスタンドで応援する保護者や観客の感染は、他県においても一切報告していません。感染状況を注視しながら、国や県のガイドラインに従ってスタンドへの入場規制を緩和する一方、第6波の主要株であるオミクロン株は感染力が強く、特に選手や保護者の集団行動については、これまで以上の感染防止対策が重要になります。

これらを踏まえ、昨秋季大会の大会運営の基本的な考え方（ガイドライン）をベースに、春季岐阜県大会へ向けて必要事項を整備しました。これらの感染症対策を遵守した上で、春季岐阜県大会を予定通り開催いたします。加盟校におかれましては、本ガイドラインに沿って、感染防止対策の徹底に努めながらの大会運営になることへの御理解と御協力をお願いいたします。

なお、今後の政府や岐阜県、県教育委員会、球場を所管する各自治体の感染症対策の追加措置等に伴い、本内容は急遽変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。また、加盟校の生徒や職員の感染等で臨時休校になった場合は、部活動が学校教育の一環であることから、これまでと同様、出場辞退もやむを得ないことをご理解ください。

1 基本方針

本大会は、6月18日開催予定の第69回東海高等学校総合体育大会軟式野球競技への出場2校を決定することを目的としています。日本高野連が示す都道府県大会運営に関するガイドラインに従い、選手や保護者、学校関係者の安全安心を最優先しながら、原則、大会開催日程を変更することなく、代表校を決定するまでの全日程を運営します。

そのため、選手、保護者及びチーム関係者は、感染による出場辞退になることのないように、練習、試合、移動等にあたって、新型コロナウイルス感染防止対策の基本となる下記①から③を常に意識して行動してください。

- ①本ガイドラインにおいて、特段の定めがない限りマスクを着用してください。
- ②三つの密（密閉、密集、密接）を徹底的に回避してください。
- ③こまめに手洗い、手指消毒を行い、咳エチケットを徹底してください。

2 事前告知について

通常とは異なる大会運営となるため、来場を希望する方々に対して入場者の制限や観戦時の感染への予防策対策の徹底（本ガイドライン項目3以降の記載内容）について、県高野連のホームページを通じて一般に広く告知します。

また、加盟校・大会出場校には、感染状況により、入場可能な条件や数等が変更となる可能性もあります。各会場での不要なトラブルを避けるため、各校関係者に必要な情報を速やかに関係者に周知していただけるようご協力をお願いいたします。

3 施設（球場）への入場者について

原則、令和3年11月19日付け内閣府「基本的対処方針に基づく催物の開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」及び令和4年1月20日付け岐阜県「イベント開催等における必要な感染防止策」等に準拠し、感染状況を踏まえ、入場制限を行います。

なお、感染状況が安定し、あるいは更に厳しい状況になり政府や行政、自治体の方針が変更された場合は、最新情報を参考にした上で、その都度対応を協議し、速やかに各校へ周知していく予定です。

（1）入場者の基本的な考え方 [カテゴリー]

- ①大会運営関係者【大会役員、球場役員、審判員、補助員、警備員等】
- ②ベンチ人員【選手20名 記録員1名 責任教師、副部長、監督各1名 計24名】
- ③学校関係者【ベンチ人員以外の部員、学校職員、部員の保護者及び家族、野球部OB会メンバー、野球部後援会メンバー、野球部関係者（チームトレーナー等）、当該学校の一般生徒】

※③学校関係者の入場については、昨年の秋季大会と同様に、学校管理下で各責任者が全員の健康状態、連絡先を把握し、入場前に大会本部へ入場者名簿を提出してください。

➡ 「（3）大会当日施設（球場）に入る全参加者の把握」を参照

- ④メディア関係者【報道関係者、県高野連が許可した写真業者】
- ⑤その他【NPBや大学等の進路関係者、スポーツ関係業者等】
- ⑥一般観戦者

新型コロナウイルス感染症が依然終息していない状況であり、本大会がきっかけでクラスターを発生させないためにも、観戦については以下の運用のいずれかを選択します。

【無観客試合】

開催予定期間に岐阜県下「まん延防止等重点措置」あるいは「緊急事態措置」が適用され、かつ行政から無観客試合での大会開催の指示がある場合を想定

Level	③の入場	④⑤の入場	⑥の入場
X	○ (入場範囲は県との協議の上で別途示す)	○	×

【有観客試合】

開催予定期間に岐阜県下「まん延防止等重点措置」あるいは「緊急事態宣言」等が解除されている状態、あるいは解除されなくても行政から無観客試合の指示がない場合を想定

Level	③の入場	④⑤の入場	⑥の入場
Y	○ ※注3	○	○
Z	○ ※注4	○	○

県及び県教委の示すガイドラインに従うが、特に指示がない場合は、行政が定めるイベントに関する事項を遵守します。以下は、その参考資料です。※注2

- 岐阜県「コロナ社会を生き抜く行動指針（令和4年1月21日変更）
<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/283365.pdf>
- 岐阜県「イベント開催等における必要な感染防止策」（令和4年1月20日）
<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/276731.pdf>
- 内閣府「基本的対処方針に基づく催物の開催制限、施設の使用制限などに係る留意事項等について」（令和4年1月19日変更）
https://corona.go.jp/package/assets/pdf/jimurenraku_seigen_20220119.pdf

注2：入場者数は、上限5,000人又は球場収容定員（スタンド開放エリア）の50%以内（上限10,000人）のいずれか大きいほうを限度とする。しかし、県の規定及び使用施設（会場）が示す上限を超えてはならない。

注3：③については試合毎に完全入れ替え制とする。
状況によっては、入れ替えを行わない場合もある。

注4：応援団・チア、ブラスバンドによる応援も可とする

*令和3年6月2日付け「第103回全国高等学校野球選手権地方大会及び第66回全国高等学校軟式野球選手権大会ブラスバンド入場に関するガイドライン」を遵守

Zの条件…岐阜県の感染者数がレベル1となり感染状況が終息したとみなされたとき

(2) 入場制限対象者

以下に該当する方は、当日施設（会場）に入場できません。よく御確認ください。

- ア. マスク非着用の方（フェイスシールド・マウスシールドのみは不可）
- イ. 指定の「検温確認表」または各球場（市町）用の「健康チェック表」、「来場者カード」に氏名・連絡先等の必要事項の記入に協力いただけない方
- ウ. 過去1週間以内に本人あるいは家族に下記①から④を含む体調不良のある方
 - ①体温 37.5℃以上 ②強い倦怠感・頭痛 ③咳、咽頭痛（「通」となっていた）、息苦しさなど ④味覚・嗅覚異常等の異変
- エ. 本人あるいは家族が検査で陽性となり、保健所が指示する療養あるいは自宅待機期間を終えていない方
- オ. 本人あるいは家族が濃厚接触者に指定され、保健所が指示する自宅待機期間を終えていない方
- カ. 海外から帰国（特に日本に入国）して14日以内の方

(3) 大会当日、施設（球場）に入る全参加者の把握**【学校関係者】**

大会に関わるすべての学校関係者は、試合毎に「試合・大会・チーム同行者 検温確認表」または各球場（市町）用の健康チェック表の作成・提出を義務付けます。また、試合開催1週間前からの健康状態を記録しておいてください。

- ア. 検査陽性者を確認した場合、速やかに周知できるシステムを各校は構築しておいてください。
- イ. 施設（会場）への入場予定者は次の手順で入退場してください。

- ①施設（会場）到着後、責任教師は各会場での受付時に、ベンチ人員以外の部員の検温等確認表、部員家族検温確認表、学校関係者検温確認表、野球部関係者検温確認表等、それぞれグループ毎に記入したものを提出し、入場者数を確定してください。
- ③各施設（会場）の指定場所で、球場役員が各グループの入場者数分のリストバンドをお渡します。※「(2) 入場制限対象者」に該当する方を申請しないでください。
- ④それらを入場予定者に配布し、入場可能時間になったら順番に手指消毒をしたのち、全員マスク着用で入場してください。なお、入場の際はリストバンドが分かるようにして係員に提示してください。
- ⑤試合途中でスタンドを出入りする際は、係員にリストバンドを提示してください。

【試合毎の完全入れ替え制】になる場合があります。この場合は試合終了後、ベンチ人員以外の部員を中心に消毒作業を行い、完了後速やかに退場してください。

【一般観戦者】

- ア. 入場時に検温に御協力いただけない方、以下の①から⑩に記載する「観戦に関するお願い」に同意されない方の入場をお断りします。
- イ. なお、収容定員の設定指示がある場合、各球場で入場者数の制限があります。上限に達しましたらご入場をお断りします。予めご了承ください。

「観戦に関するお願い」

- ①ご来場いただく1週間前からのご自身の健康状態の記録にご協力ください。書式「健康チェックシート」は岐阜県高等学校野球連盟のホームページからダウンロードできます。提出を求める場合がありますので、各自で保管し大会終了後も1週間は破棄しないでください。
- ②入場の際、前の人と1m以上の間隔を空けお並びください。
- ③手指消毒をしたのち、必ずマスク着用で入場してください。なお、ご入場の際はリストバンドが分かるようにして球場役員または係員にご提示ください。
- ④その際、球場役員または係員が非接触型体温計で「37.5℃未満であること」と「当日の体調等」を聞き取ります。そのうえ、入場可否を判断しますのでご理解、ご協力ください。なお、この時点での返金には応じかねますので予めご了承ください。
- ⑤ご入場後、「来場者カード」に必要事項を記入し、各会場設置の回収箱に入れてください。
 ※混雑の防止、接触感染防止の観点から、筆記用具の持参にご協力ください。
 ※ご記入いただいた情報は、必要に応じて保健所等の公的機関に提供する場合があります。予めご了承ください。なお、提出をもってご同意いただいたものとします。
 ※提出日からおおよそ1ヶ月間連盟事務局で適切に保管した後、破棄いたします。
- ⑥各施設（会場）にて、指定区域を設けます。球場内の掲示または、球場役員の案内に従って観客席にお座りください。
 ※学校関係者と一般観戦者の観戦場所を分けております。感染拡大防止の観点から、指定場所以外での観戦はおやめください。
 ※ソーシャルディスタンス（できる限り2m、最低でも1m）をとってご観戦ください。
 ※特に、飲食の際は、できるだけ人と人との距離をとるようにし、黙食を心がけてください。
 ※また、周囲に飲食中の方がいる場合は、声を出すことを控えるなどお気遣いをお願いします。
- ⑦試合途中でスタンドを出入りする際は、係員にリストバンドを提示してください。
 ※ご着席後は、球場内は目的地を決めて移動することとし、球場内での不必要な移動、回遊を避けてください。
- ⑧観戦マナーの向上にご協力をお願いします。
 ※アルコール飲料の持ち込みは禁止です。
 ※学生野球を政治的、商業的に利用しないでください。
 （日本学生野球憲章 第1章 第2条 学生野球の基本理念より）
 ※自席を離れての写真撮影やビデオ撮影は禁止です。特に偵察目的のビデオ撮影、および学生野球の動画を主催者及び学校の許可なくSNSに掲載することはおやめください。
 ※特にネット際でのビデオ撮影はしないでください。
- ⑨無理をせず、少しでも体調が悪く感じたら、お近くの大会役員までお申し出ください。
- ⑩検査陽性者との接触を通知する「接触確認アプリ（COCOA）の導入をお勧めします。
- ⑪帰りの際には、ごみの持ち帰り、使用したエリアの消毒に御協力ください。

4 適切な感染防止対策を踏まえた施設利用の徹底について

各校の監督及び責任教師は、参加生徒及び教員の体調管理の徹底、学校関係者の健康チェック、入場者の制限や誘導、手指の消毒設備の設置、マスク着用の要請、「三つの密（密閉・密集・密接）」を徹底的に避け、クラスターの発生リスクを下げるために、それぞれの場面で以下の対策を講じてください。

(1) 大会に参加する全ての方に共通する感染症対策

大会に参加する全ての人（選手・顧問・大会役員・審判等、球場に入る全ての人）は、必ず当日の朝、自宅もしくは寮で検温を行い、平熱であることを確認して球場に入ってください。高熱の者や体調不良（倦怠感、咳、咽頭痛等）人の参加は認めません。球場に入る際は、必ずマスクを着用してください。また、三密を避け、各所に設置された消毒液を使い、頻繁に手指消毒をしてください。

- ①全参加者の手洗い、うがいを励行してください。
- ②試合当日までの体調管理と検温等の健康チェックをしてください。
- ③マスク及び消毒液等は、参加校で持参してください。
- ④会場への移動の際は、バスや乗用車に乗車する人数を制限し、マスクを着用し、車内での会話を控えるなど、各学校で責任を持って集団感染のリスクを避けてください。
- ⑤会場出入りの際にはマスクの着用、手指消毒を徹底し、試合前後のベンチやスタンドの消毒を行ってください。なお、球場責任者は、球場内の必要箇所（出入り口・ベンチ・トイレ等）に消毒液を設置し、常時手指消毒ができる体制をとってください。
- ⑥ベンチが狭く、「三つの密」の条件をクリアできない場合は、グラウンドの一部またはスタンドの一部も使用することができます。この場合、当該校責任教師と球場責任者が、ベンチに入ることができる人数を決定します。
- ⑦次試合の出場チームは受付あるいは球場本部に「試合・大会 チーム同行者 検温確認表」等を提出した後、スタンド等で待機することができます。その際、十分に間隔を空け、密集を避けてください。
- ⑧使用した場所は自身で清掃・消毒し、ごみは必ず持ち帰ってください。

(2) 出場選手等の球場での留意点

ア. 球場内での行動

- ①ウォーミングアップ時、選手のマスク着用は義務付けません。ただし、球場外の観客近くでウォーミングアップをする場合はマスクを着用してください。
- ②走る・歩く運動においては、前の人への呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方等工夫した位置取りをしてください。
- ③活動前後や休憩時は、その都度マスクを着用してください。
- ④試合前後の飲食は、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話を控えめにし、咳エチケットを徹底してください。会話が必要なときはマスクを着用してください。
- ⑤食べ物の取り分けや飲み物の回し飲みを絶対にしないでください。
- ⑥試合中、素手によるハイタッチや握手を控えることとし、自身の目、鼻、口なども触らないように注意してください。
- ⑦控え室は、使用禁止とします。

イ. 十分な距離の確保と声出し

- ①試合開始前、終了時に整列する際、選手は手を腰に当てて、隣の選手とぶつからない程度の距離を空けて挨拶を行ってください。試合終了後の校歌斉唱時も同様とします。
なお、相手チームと握手などは行わないでください。
- ②ダッグアウト前で円陣を組む時など密集にならないよう注意し、一定の距離を保ってください。なお、ダッグアウト前での声出しは禁止します。
- ③試合中に守備のタイムでマウンド上に集合する際はグラブで口を覆ってください。
- ④ダッグアウト内では密集にならないよう、できるかぎり人と人の距離を一定間隔に保ってください。
- ⑤試合中、ダッグアウト内は熱中症対策を十分に講じてマスクを着用してください。グラウンドで試合に出場している選手はマスクの着用を義務付けません（ベースコーチを含む）。

ウ. 消毒・清掃

- ①チームの共用用具として考えられるもの（バット、ヘルメットなど）は、こまめに消毒してください。
- ②市販されている界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて清掃することが求められます。清掃後に不特定多数の手が触れる可能性がある環境表面を清拭消毒することが重要です。

エ. ゴミの廃棄

会場設置のゴミ箱は使用せず、参加校で必ず持ち帰ってください。特に鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用してください。また、マスクや手袋を脱いだ後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒してください。

(3) 観客席における観戦時の留意点・注意喚起及び要請

- ①厚生労働省が開発した検査陽性者との接触を通知する新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAの登録を推奨します。
- ②観戦時は、マスクを着用し、人と人との距離（1.5～2m）を十分とって観戦してください。
※放送やビジョンを用いて頻繁な注意喚起を促します。
- ③観戦時に以下の行為は禁止します（飛沫感染、接触感染を防止するため）。
 - ・大声での声援、応援、校歌等の合唱（試合中、試合前後）及びエール
 - ・鳴り物の使用（ブラスバンド、太鼓などを含む）
 - ・得点時などのハイタッチや、座席の上に立ったり、一か所に集まったりする行為
 - ・タオル等を回す行為
 (参考) 応援可能な事例
 - ・プレーの度の拍手（両手をメガホン代わりにして大きな声は発しない）
 - ・拍手での応援（自席で手を叩く程度で大きな声は発しない）
- ④消毒・清掃… (2) 出場選手等の球場での留意点のウ.に準じます。
- ⑤ゴミの廃棄… (2) 出場選手等の球場での留意点のエ.に準じます。

5 審判員及びメディア関係者について

球場入りする審判員及びメディア関係者にも毎日の検温、体調チェック、マスク着用を義務づけます。必ず当日の朝、検温を行い、平熱であることを確認してから球場に入ってください。高熱(37.5℃以上)の方や体調不良(倦怠感、咳、咽頭通等)の方の参加は認めません。

受付で検温確認表に必要事項を記載し、その後は連盟発行のIDを必ず携帯してください。

(1) 審判委員について

- ①審判部についても、最大限の感染予防対策を要望します。
- ②審判控室は、使用する者が定期的に換気をし、座席の間隔は一定の距離を保ってください。
- ②審判部が使用する箇所すべてを使用後消毒してください。
- ③会場設置のゴミ箱は使用せず、ゴミは各自持ち帰ってください。

(2) メディア関係者について

- ①各メディアには、一社一日あたりの取材者を限定するなどし、全体の人数をできるだけ絞り込むよう要請します。カメラマン席の人数も制限します。
- ②選手や監督への直接取材は代表取材を原則とします。ただし、間隔をとって実施できるスペースがあれば、スタンドに取材エリアを設けることを妨げません。

6 大会前、大会中に体調不良者が発生したときの対応について

(1) 行動歴の記録について

検査陽性者が発生した場合、本人が発症2日前から現時点までの行動歴を明らかにし、接触した可能性のある者を特定しながら感染拡大を阻止することが重要です。参加校部員(記録員を含む)・指導者、運営役員、審判委員等、大会に関わるすべての者は、試合開催1週間前の行動歴(いつ、どこに行き、誰と会ったか)を必ず記録しておくようにお願いします。(以下:記録例)

日付	行先	滞在時間	接触者
2月15日	部活 学校球場	2時間	部員全員
2月16日	〇〇病院	1時間	担当医療従事者と受付人

(2) 大会前、大会中に体調不良者がいるチームの判断について

- ①大会前、大会中に参加校の選手及び家族に体調不良者が発生した場合、責任教師は速やかに県高野連に報告するとともに、保健所の指示・指導に従うことになります。
- ②保健所の指導のもと隔離措置、濃厚接触者の特定、PCR検査の指示などがあります。当該校は検査陽性者、感染が疑われる者の人数や行動歴、保健所の指示を踏まえ、当該校校長が参加の可否を判断してください。
- ③県高野連は参考校校長の判断を尊重し対応します。しかし、当該校の感染状況(部内での集団感染や集団感染が予見されるなど)によっては出場を差し止めることもあります。
- ④濃厚接触者と特定された場合は、検査で陰性となっても、原則10日間(または7日間対応)の自宅待機となります。また、濃厚接触者でない場合も、検査後、陰性が確認されるまでは大会に出場することはできません。それ以外の指導者、登録選手でチームが組めれば大会に参加することは可能です。
- ⑤ただし、過去の保健所の判断では、大会期間中にチームに陽性者が出た場合、そのチームのほぼ全員が濃厚接触者あるいは検査対象者となるため、当該校は原則、大会への出場を辞退することになります。

- ⑥大会参加申込書は「2021 岐阜県様式（様式 8・A4 版）」または野球競技者管理システム大会参加申込書により学校長の決裁を取り、公印を押した書類 2 部を最初の試合会場の球場責任者に提出します。大会前（提出前）であれば選手の入替えは可能ですが、**提出後の選手変更は認めません。**
- ⑦なお、検査陽性者や感染が疑われる者が発生した場合でも大会日程は原則として変更しません。ただし、日程を繰り下げることで当該校の大会出場が可能な場合は、臨時の理事会を開き検討することもあり得ます。その場合、同一回戦の日程で日程変更を検討することを原則とします。
- ⑧大会会場にいた関係者に陽性が判明した場合、県高野連は保健所と連携し、その球場は当日と翌日は閉鎖し、消毒と濃厚接触者の確認作業を行います。
- ⑨上記の場合、試合の取り扱いや、その後の組み合わせ等については大会本部で判断します。
- ⑩一般観戦者については、連盟までご連絡いただくよう入場時に促します。
連盟は、任意で登録された連絡先に連絡を入れます。

7 その他

第 6 9 回東海高等学校総合体育大会軟式野球競技への出場校を決定することを目的に、全試合を完遂することを最優先に大会運営を行います。ただし、以下の①から③に該当する場合は大会自体を中止することもあります。

- ①政府または岐阜県（行政）あるいは岐阜県教育委員会から中止の要請があった場合。
- ②県内に緊急事態宣言が発令され、岐阜県及び岐阜県教育委員会が県内全高校を休校あるいはオンライン授業とした場合。
- ③大会でクラスターが発生し、検査陽性者や濃厚接触者が複数チームに広がる等、県高野連として、大会の継続が難しいと判断した場合。

なお、本ガイドラインに記載されていない事象が発生した場合は、県高野連理事会にて協議の上、対応を決定します。